

## LGBTQ+／SOGIE施策の取組状況について

本市は、誰もが持つSOGIE（ソジー：性的指向、性自認、性表現）の多様性が尊重され、LGBTQ+を含むすべての市民が、自分自身を大切に、自分らしく生き、互いを認め合える「ありのままがあたりまえ」のまちを目指しています。

つきましては、今年度の主な取組状況について報告します。

### 1 パートナーシップ・ファミリーシップ制度

人生のパートナーや大切な人を家族として届け出たことを市が証明する本制度については、本年1月末時点で49組の方々から届出を受理しています。

この4月には兵庫県が同制度の導入を予定しているなど更なる広がりを見せているところであり、今後も近隣自治体と連携し、当事者に寄り添いながら取り組んでいきます。

### 2 専門相談窓口「明石にじいろ相談」

SNSを活用した周知や、研修や出前講座などの機会を捉えた案内を行うとともに、今年度から電話相談を平日夜間に実施するなど、相談者のニーズにあわせながら進めています。本年1月末時点で33件の相談がありました。相談を受けるだけでなく、内容に応じた情報提供や支援を行っており、今後も更に周知を図りながら、効果的な運用を行っていきます。

### 3 あかしソジトモスターカンパニー制度

従業員や市民のソジーを尊重するための取組を積極的に実践し、また実践しようとする企業、医療機関、教育機関などを登録し、取組実績に応じて認定する制度を昨年1月に開始しました。本年1月末時点で6件の企業等を認定しています。今後も制度の趣旨を広く周知し、認定事業者を増やすことで、市内で働き、生活するLGBTQ+の生きづらさの解消を図っていきます。



【ガイドブック】

### 4 研修・出前講座

児童・生徒が「性の多様性」の正しい知識を得るとともに、自分も相手も尊重することの大切さを学ぶ機会を提供するため、小学校14校、中学校3校、高校1校(予定)で出前講座を実施しました。教職員に対しても、階層別研修や学校単位の研修を行っています。

また、地域の市民を対象とした出前講座等では、性のあり方は多様であることや、誰もが持つ「自分らしさ」を大切にしようことを重視してお伝えしています。

今後も、研修や出前講座を通じて、市民理解の促進を図っていきます。



【出前講座の様子】